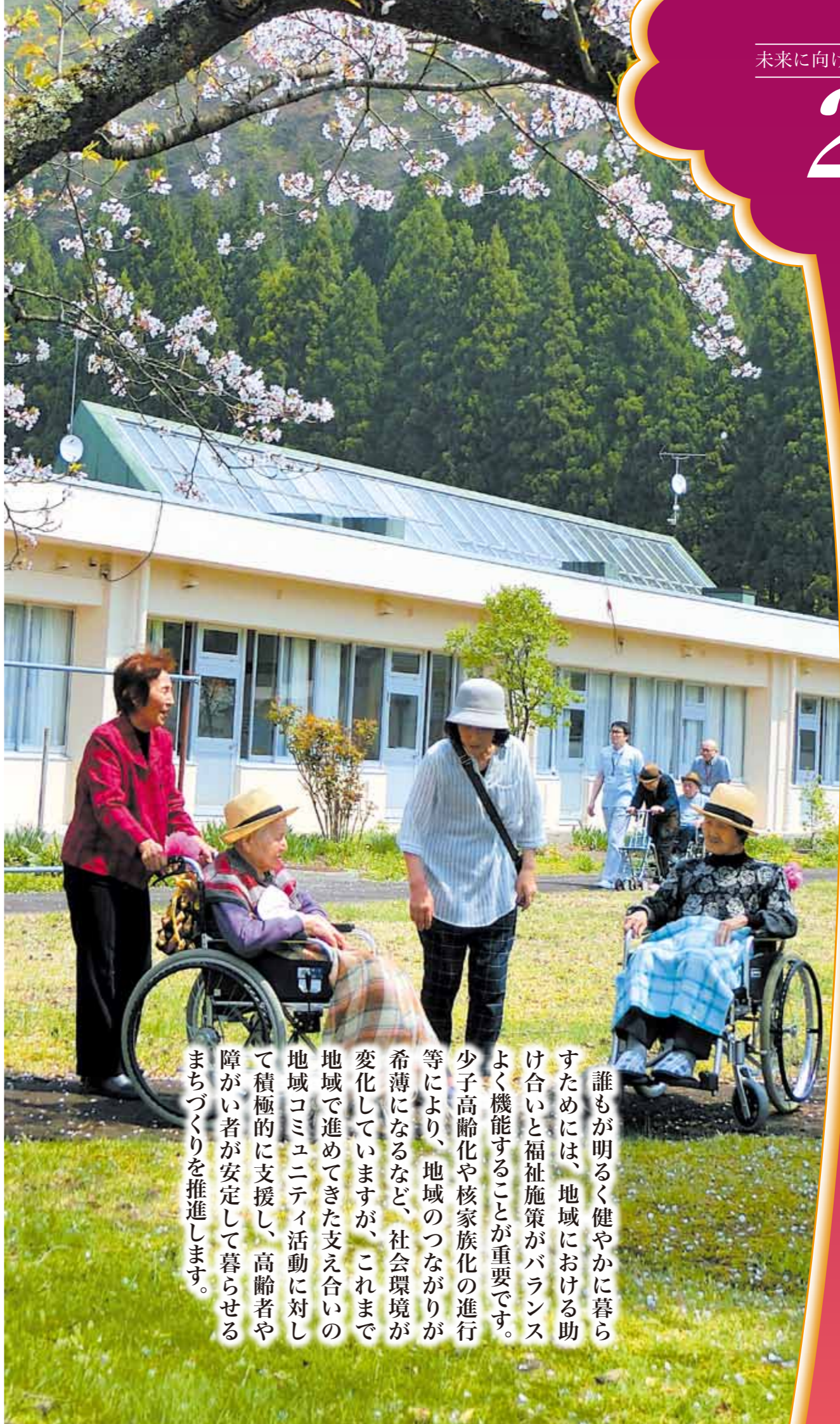


2

お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり



誰もが明るく健やかに暮らすためには、地域における助け合いと福祉施策がバランスよく機能することが重要です。少子高齢化や核家族化の進行等により、地域のつながりが希薄になるなど、社会環境が変化してはいますが、これまで地域で進めてきた支え合いの地域コミュニティ活動に対して積極的に支援し、高齢者や障がい者が安定して暮らせるまちづくりを推進します。

地域福祉の充実

近年、社会情勢が大きく変化する中で、家族同士や地域で支え合う機能が弱まり、また、個人の価値観の多様化、ライフスタイルの変化、プライバシーの配慮等から、身近な地域での交流や人々の結びつきが希薄になっていきます。

市民の福祉に対するニーズは多様化してきており、子どもから高齢者まで、誰もが安心して充実した生活を送るためには、互いにコミュニケーションを深め、「地域で支え合う力」を高めていくことが一層大切になっており、民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体等との連携を図りながら、本市における地域福祉の在り方を検討し、課題解決に取り組んでいきます。

主な取り組み

- ◇地域福祉の在り方検討
- ◇生活困窮者の自立支援
- ◇民生児童委員、社会福祉協議会、ボランティア団体との連携促進



高齢者福祉の充実



市の高齢化率はここ数年、毎年約1パーセントずつ上昇して県平均を上回り、令和3年には44.6パーセント、さらに令和22年には約51パーセントになることが見込まれています。介護や支援を必要とする高齢者や認知症者も増加しており、高齢になってもいつまでも住み慣れた地域で安心して生活し続けられるよう、地域包括ケアシステムを機能強化し、要介護状態にならないための予防的な取り組みや、在宅医療・介護サービスを一体的に提供していきます。

主な取り組み

- ◇高齢者の社会参加、健康づくり、介護予防への支援
- ◇地域包括ケアシステムの維持・機能強化
- ◇在宅生活支援
- ◇高齢者福祉施設の整備、見直し

地域コミュニティの推進 地域自治の体制確立

市内には約230の自治会・町内会があり、自治会・町内会活動をはじめ、祭りや伝統芸能等の地域行事、環境美化活動といった地域活動に参加している割合は7割を超え、市民意識の高さが本市の特長となっています。しかし、人口減少が進み、地域コミュニティの核として自治会・町内会の役割は益々大きくなる一方で、高齢化や核家族化、生活様式の多様化等から自治会・町内会の加入率の減少や担い手不足により、存続が危ぶまれる団体も出ています。

自治会・町内会と行政が、地域コミュニティの実態を認識し、自治会・町内会にとどまらず、ボランティアやNPOといった団体についても地域コミュニケーションの担い手として支援していきます。

主な取り組み

- ◇地域と行政との協働の推進
- ◇地域活動の推進



障がい者福祉の充実

障がい者の生活や権利を守るための法整備が進んでいることから、サービス内容等の急激な変化に対する適切な情報提供や、就業や生活面での相談や支援の充実を図っていきます。

主な取り組み

- ◇自立支援サービス（地域移行・就労支援）の促進
- ◇障がい児への支援

